

小樽商大のYOSAKOIソーランチーム「翔楽舞」の10周年メドレーのステージ



小樽商大のYOSAKOIソーランチーム「翔楽舞」(伊東和真代表)が9日、小樽市民センター・マリンホールで演舞披露会を開いた。同チームは今年で結成10周年。披露会では、これまでの「YOSAKOIソーラン祭り」で踊った演舞を組み合わせた「10周年メドレー」などを披露した。(渡辺佐保子)

10年の歩み舞に込め

樽商大YOSAKOI「翔楽舞」披露会

同チームは2007年7月に結成。今年の「YOSAKOIソーラン祭り」では「慶陽」の演舞で二次審査員賞と北海道知事特別賞を受賞した。

披露会では1〜4年生の約100人のメンバーがメドレーを合わせて9演目を披露。途中にはアンケート用紙に記された番号でコー

ヒーメーカーなどが当たる抽選企画などもあり、会場を盛り上げた。

記念の「10周年メドレー」では過去10年間のすべての

衣装も登場。迫力ある踊りとともに、華やかで趣向を凝らした衣装も観客の目を引き、客席からは大きな拍手が送られた。